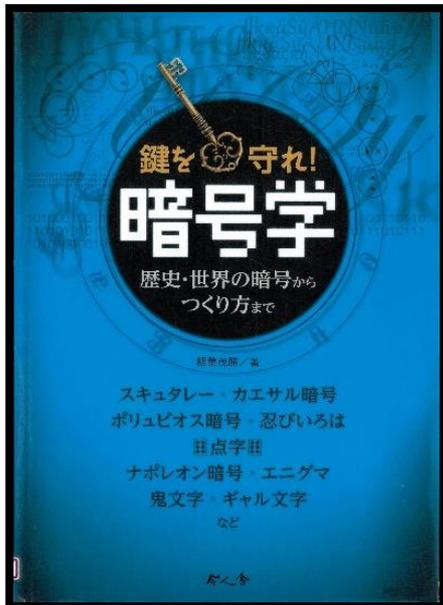


かぎ
鍵を守れ!

暗号学

歴史・世界の暗号からつくり方まで



いなば しげかつ/著

今人舎[809]



この本では、時代も国も様々な暗号を紹介し、暗号の歴史や、ドイツ軍の「エニグマ」といった暗号が近現代の戦争と密接に結びついていたことを解き明かします。

豊富な図や写真で、暗号のしくみから作り方、解読法まで学ぶことができます。

学校で使うタブレット端末のパスワードやマイナンバーなど、私達の日常は暗号と切りはなすことができません。その面白さを知るとともに、情報セキュリティの重要性を強く感じることでしょう。

ひいろ こうじょ 緋色の皇女アンナ



トレーシー・バレット/作

やまうち ちえこ
山内 智恵子/訳

徳間書店[933バレ]

皇女アンナは絶大な権力を持つ皇帝の世継ぎとして、帝王教育を受けながら、麗しき婚約者と玉座につく日を心待ちにしていた。

しかし、弟ヨハネスの誕生をきっかけに、アンナの栄光の日々に陰りが見え始める。家族間の権力闘争と世継ぎ争い。その果てに待ち受けていたのは、黄金色に輝く宮廷生活とは真逆の、灰色の修道院での日々であった。

約900年前に実在したビザンチン帝国の皇女にして、西洋古代・中世を通じて唯一といわれる女性歴史家の誕生を描きます。

ひかり生まれるところ



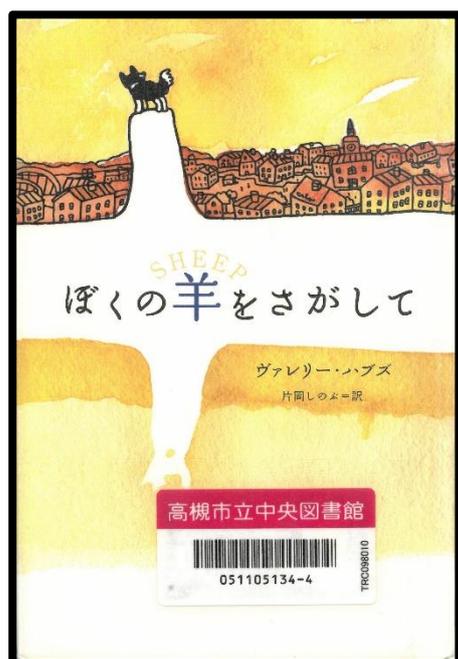
まはら みつと三桃/著
小学館[913マハ]

希美は幼い頃から何度も、神社という存在に救われてきた。大学で神道を学んだ後、念願の神職として三雲神社で働いている。

神社の一日は清掃から始まり、奉仕者の心も清らかに整えられる。そんな時でも希美は、つらい過去をふと思い出すのだった。ある日、七五三の参拝に中学校の同級生が現れた。声をかけられた希美は、胸の奥が凍りついた。

神社のあまり知られていない仕事や役職、また節分の由来も知ることができます。

SHEEP ぼくの羊をさがして



ヴァレリー・ハブズ/著
かたおか片岡 しのぶ/訳
あすなろ書房[933ハブ]

ぼくは牧羊犬のボーダーコリー。住んでいた農場が火事になり、家族と引きはなされ、ペットショップに売られてしまった。ある日、ペットでいることにたえられず、飼い主の家からにげ出したぼくは、長い旅に出ることになった。

ヤギをつれたおじいさんとの暮らし、サーカスに引き取られて芸をした日々、たくさんの人に出会い、最後にやっとぼくが役立つ場所とジャックという名前を手に入れた。

立派な牧羊犬になりたいという夢をあきらめず、一生懸命行動する子犬が主人公の物語です。